



理工学メディアセンターニュース

No.102 2007.8

8月の開館時間

先月の入館者数

42,523人

2007年8月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			①	②	③	④
5	⑥	⑦	⑧	9	10	11
12	13	14	15	⑬	⑮	⑯
19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
26	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	

【カレンダーの見方】

短縮開館
月～金:8:45～19:00 / 土:8:45～18:00

休館

* 来月以降の開館予定は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/calendar/calendar2007.html>

* 塾内各地区メディアセンターの8月の開館日程は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.lib.keio.ac.jp/schedule/200708.pdf>

お知らせ 2~3

一斉休暇中のサービス停止について

ホームページ, OPAC 停止 (8/5, 8/19)

夏季休業中の館内工事

早稲田大学図書館 夏季休業期間中のサービス

電子図書館サービス 3~4

JDreamII 接続先 URL 変更

SciFinder Scholar 2007 リリース

SciFinder 利用説明会テキストおよびビデオの公開

日国オンライン (日本国語大辞典 Web 版)

コラム 4

著作権メモ 37 引用について (学術論文執筆時の具体的な疑問)

発行 : 慶應義塾大学理工学メディアセンター

E-mail : riko-mcinfo2@adst.keio.ac.jp

Home Page : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>

本誌の電子版のご利用はこちらから <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/mcnews.html>

お知らせ

一斉休暇中のサービス停止について

矢上地区夏季一斉休暇に伴い、Web上のサービスを以下の通り停止します。

1. 停止期間：8月8日(水)19:00～16日(木)9:00
2. 停止するサービス：Aldrich FT-NMR / FT-IR, CAonCD, 学位論文データベース

*ホームページは、上記サービスを除きこの期間もご利用いただけます。

ただし、オンラインリクエストからの各種申し込みに対する処理は
8月16日(木)以降となります。

ホームページ, OPAC 停止 (8/5, 8/19)

三田地区での電源作業に伴い、以下の期間、理工学メディアセンターを含む、各キャンパスのメディアセンターホームページ、OPAC、オンラインリクエスト、リモートアクセス(一部)が停止します。ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承ください。

停止期間：8月5日(日)8:00～19:00

8月19日(日)8:00～19:00

夏季休業中の館内工事

1. 本館洗面所改修工事

工期：8月6日(月)～9月15日(土)

以下のように、洗面所の利用場所が制限されます。

8月6日(月)～25日(土)

本館1・2階ともに洗面所は利用できません。また下記2.の工事による創想館地階閲覧室閉室のため、創想館地階の洗面所も利用できません。館外の洗面所をご利用ください。

8月27日(月)～9月15日(土)

本館1・2階ともに洗面所は利用できません。(創想館地階の洗面所は利用できます。)

2. 創想館地階防音工事

工期：8月6日(月)～25日(土)

以下のように、創想館地階閲覧室を閉室とします。

8月6日(月)～8日(水)、16日(木)～18日(土)(*夜間開室は行います)

平日：8:45～18:00 土曜：8:45～17:30

8月20日(月)～25日(土) 全面閉室

3. 別館電動集密書架の基盤・安全バー修繕工事

工期：8月1日(水)～27日(月)

作業中の書架には入れません。

該当箇所の資料を利用されたい場合は、レファレンスカウンターまでお問い合わせください。

早稲田大学図書館 夏季休業期間中のサービス

早稲田大学図書館は8月1日(水)～9月20日(木)まで夏季休業体制となります。

開館時間：9：30～20：00(理工学部図書館)

閉館 = 上記期間中の土曜・日曜・祝日、および8月13日(月)～8月17日(金)

他の図書館(室)は各々開館時間が異なります。来館利用の際は、事前に当センターレファレンスカウンターにお尋ねください。また、一部の教員図書室については取寄せ資料の到着が遅くなる場合があります。ご了承ください。

電子図書館サービス

* 電子図書館サービスについてのご質問は、当センターレファレンス担当
(E-mail: riko-mcref@adst.keio.ac.jp, 内線 40307) までお問い合わせください。

JDreamII 接続先 URL 変更

科学技術文献データベース「JDreamII」の接続先 URL が変更になりました。ご自身の PC の“お気に入り”、“ブックマーク”等にログインページを登録している方は、変更をお願いいたします。

新 URL <http://database.lib.keio.ac.jp/jdream/index.php>

SciFinder Scholar 2007 リリース

化学系データベース「SciFinder Scholar」の最新バージョンがリリースされました。SciFinder Scholar を研究室でご利用の方は、以下の URL より各自ソフトウェアをダウンロードし、セットアップを行っていただきますようお願いいたします。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/sthc/SciFinder/setup.htm>

SciFinder Scholar 2007 の新機能については、CAS の下記サイトを参照してください。

<http://www.cas.org/products/sfacad/scholwhatsnew.html>

SciFinder 利用説明会テキストおよびビデオの公開

化学を中心とする膨大な科学情報を網羅しているデータベース「SciFinder Scholar」利用説明会ビデオを当センター Web ページ上に公開しました。本年4月に化学情報協会から講師を招いて講習会を催した際に撮影したもので、基本編、応用編があります。当日使用したテキスト(PDF)も併せて掲載しましたので是非ご利用ください。

ご利用は当センターホームページの「データベース」内の“論文の検索”から「SciFinder Scholar」を選び[詳しく]をクリックするか、直接下記 URL にアクセスしてください。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/database/database-guide-hp.html#scifinder> (塾内限定)

日国オンライン（日本国語大辞典 Web 版）

日本最大の国語辞典 小学館「日本国語大辞典第2版」全13巻を検索できるデータベース『日国オンライン』がスタートしました。当センターホームページ「データベース」の“辞書・辞典の検索”から選ぶか、直接 <http://nikkoku.jkn21.com/> にアクセスしてください。同時ユーザ数が限られていますので、利用後は画面右上の<ログアウト>ボタンのクリックを忘れずに。

コラム

著作権メモ 37 引用について（学術論文執筆時の具体的な疑問）

前は著作権者の許諾が不要な“引用要件”についてご紹介しました。今回は、レファレンスカウンターにお問い合わせをいただいた学術論文執筆時の具体的な疑問を例に、引用の詳細を説明いたします。

「禁転載」の注意書きがある著作物は引用できない？

引用要件を満たす限り、仮に「禁転載」の表示がある場合でも著作権侵害にはなりません。

他の論文に含まれるデータ・表・グラフ・図(イラスト)・写真は引用可能か？

引用要件を満たせば問題ないと考えられますが、特に図(イラスト)・写真については質的量的「主従関係」を満たすか否かで争われたケースもありますので、慎重に行う必要があります。

外国の論文から引用する際の要件は、日本の引用要件と同じか？また外国の著作物を自ら日本語に翻訳して引用することは可能か？

世界主要国が加盟しているベルヌ条約・万国著作権条約などにより、外国の著作物についても自国民と同等以上の保護を与えることが定められています(これを内国民待遇という)。したがって外国の論文に関する引用要件は日本の引用要件と同じです。また引用要件を満たせば、自ら翻訳して引用することが可能です。

<参考資料>

- 1) 文化庁著作権 Q&A (オンライン), 入手先<<http://bushclover.nime.ac.jp/c-edu/index.html>>, (参照 2007-07-25)
- 2) 宮田昇 / 学術論文のための著作権 Q&A, 神奈川, 東海大学出版会, 2005, 148p.
- 3) 北村行夫, 雪丸真吾 / Q&A 引用・転載の実務と著作権法, 東京, 中央経済社, 2005, 186p.

訂正のお知らせ

先月号の理工学メディアセンターニュース (No.101) に掲載の著作権メモ 36 に下記の誤りがありました。お詫びして訂正致します。

誤	正
・引用元が公表された著作物であること(第 48 条)	・引用元が公表された著作物であること(第 32 条)
・公正な慣行に合致すること(第 48 条)	・公正な慣行に合致すること(第 32 条)
・報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行われること(第 48 条)	・報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行われること(第 32 条)
・出所を明示すること(第 32 条)	・出所を明示すること(第 48 条)